



2019 冬号

No.235

# 橋

はし



京都府 渡月橋

# BRIDGE



年頭所感	医療法人藤井会 理事長	藤井 弘史	02
	石切生喜病院 病院長	山本 久美夫	03
	大東中央病院 病院長	梶山 雄司	04
	香芝生喜病院 病院長	清水 幸宏	05
	北河内藤井病院 病院長	川口 雄才	06
	藤井会リハビリテーション病院 病院長	鄭 台キョク	07
	みくりや診療所 院長	福井 寛也	07
	深江クリニック 院長	尼木 純子	09
	住道クリニック 院長	佐井 吉永	09
石切生喜病院 外来化学療法室をリニューアルしました	石切生喜病院 化学療法センター センター長	川尻 成美	10
第13回 循環障害を考える会 開催	法人本部 広報課		11
第4回 心臓病の未来を考える会 開催	法人本部 広報課		12
第2回 藤井会特別講演会(職員対象) 開催 ～メンタルヘルスケア推進の意義と対応～	法人本部 広報課		13
北葛城地区医師会 公開市民講座	香芝生喜病院 地域医療連携室 室長	石井 秀一	13
手術室 看護師の取り組み	石切生喜病院 手術室 副主任	小村 麻里子	14
「離棟・離院対応マニュアル」を作成して	石切生喜病院 医療安全管理部 師長	濱本 恵美	15・16
看護多機能施設さくら、藤井会訪問看護ステーション を今年もよろしくお願ひします。	藤井会訪問看護ステーション 所長 看護多機能施設 さくら 施設長	津野 美千子	17
藤井会新石切デイサービス 5周年を迎えました	藤井会新石切デイサービス 施設長	筒井 紗恵子	18
キラッとスポット④⑤ 邪馬台国(やまたいこく)か? 纏向(まきむく)遺跡周辺を歩く	北河内藤井病院 地域医療連携室 室長	辻 剛伸	19・20
職種紹介⑰ ～私たちこんな仕事をしています～ 石切生喜病院 【診療情報管理室】	石切生喜病院 診療情報管理室 副主任	日高 伸介	21
調理訓練について	藤井会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 副主任	奥川 貴裕	22
食べ物の働きで身体を内側から温めよう	香芝生喜病院 栄養管理室	小松 由里恵	23
薬局通信⑥④	石切生喜病院 薬剤室	奥田 真子	24
にこにこ保育園 運動会	にこにこ保育園	藤本 知恵	25
にこにこ保育園 秋の遠足	にこにこ保育園	北川 愛	25
リレー随筆			26



## 年頭所感

医療法人藤井会 理事長 藤井 弘史

皆さま新年あけましておめでとうございます。  
 今年は今上天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位に伴い、新しい元号をお迎えすることになります。平成という時代を振り返った時、胸の中を去来する想いは人それぞれだと思います。私自身は、平成という時代に大変な経験をしたとしても、それ以上に有意義な時間を積み上げることができたと、感謝できるようにしたいと思っております。

奈良時代には、時代の旧新の順に天平感宝、天平勝宝、天平宝字、天平神護、神護景雲という四文字の元号がありました。

四文字の元号5つのうち4つに天平という共通の文字を用いているのは、これらの時代の前に位置する天平という元号の期間に日本人としての矜持を確立したからではないかと私は独断しています。

天平年間には、反乱や天然痘の流行、更に財政危機といった社会不安がありましたが、それ以上に、東大寺の大仏の建立で知られる聖武天皇を中心とした日本国に、唐という国を意識しながらも、遙か昔の我国の先人達が自信を確立することができたのだらうと思っております。

昨年の7月に関西電力様の御厚意により、宇奈月温泉⇒樺平⇒堅坑エレベーター⇒上部専用鉄道⇒黒部川第四発電所⇒インクライン⇒黒部トンネル⇒黒部ダム⇒関電トンネルを巡る経験をさせて戴くことができました。

堅坑エレベーターは、昭和14年に開削された山の地下を垂直方向に200mも上下するトロッコの車両を乗せることができる巨大なもので、最近まで日本最大の積載量を誇っていたそうです。

その先の上部専用鉄道のトンネルは、吉村昭の高熱隧道の題材となったもので、黒部川第三発電所の工事の一環として、作業の多くを人力に頼っていた戦前の昭和14年に作られました。今回案内を戴いた時も、硫黄の臭いと蒸し暑さが半端ではなく、岩盤温度が166℃に達するトンネルの掘削に、困窮を極めたことは想像に難くないものでした。高熱隧道の凹凸した壁の中に当時の艱難辛苦が染み込んでいるように感じるものでした。

黒部川第四発電所は、昭和38年に建てられた巷間に「くろよん」と呼ばれる発電所です。

平成29年にオープンした香芝生喜病院よりも大きいと思われる巨大な空間を、人里を遠く離れた黒部の山の地下深くによくも掘ったと驚嘆するものでした。

**住道クリニックは夜間透析を行っています。**

一般的な透析クリニックは、受診できる時間が昼間に限られています。  
 仕事をしながら透析されている患者さまは、人工透析を受けるために早退しなければならず、仕事との両立が難しい現実がありました。

当院では「仕事を済ませてから透析を受けたい」というニーズにお応えすべく、  
 2018年7月より「夜間透析」を開始しました。

ご旅行やご出張に合わせた臨時の受診も可能ですので、ぜひお気軽にお問合せください。

**お問い合わせ (072) 872-9555**

アクセス：学研都市線住道駅から徒歩5分  
 実施時間：月・水・金曜日 17:00～22:00



“くろよん”の先には、25トンの積載能力を誇る巨大なインクラインがあります。

インクラインは人荷を運ぶケーブルカーですが、これも黒部の山の地下深くに、生駒ケーブルの鳥居前から宝山寺までの駅間よりも少し短いだけの距離をより急な傾斜角で、昭和34年に敷設されています。

インクラインの先の黒部トンネルは、第二阪奈道路の阪奈トンネルの5.6キロを上回る10.3キロの長大なもので、その出口に控えているのが余りにも有名な黒部ダムです。その規模には圧倒されるものでした。

昭和38年にこんな巨大建造物を、足を踏み込むことすら困難なところに、よく竣工したと感動を覚えました。関電トンネルは、黒部ダムから扇沢を結ぶ昭和33年に開通したトンネルです。その難工事の様子は木本正次の小説「黒部の太陽」の題材となり、石原裕次郎や三船敏郎らにより映画化されていますので、記憶におありの方も多と思います。

ここまで前置きが長くなりましたが、戦前の物資不足の時代に完成した黒部川第三発電

所と、戦後復興期の電力不足に喘いでいた関西地方を救済すべく建設された黒部川第四発電所を見学させて戴いて、日本人はもっと自信を持つべきであり、個人も組織も“何かのために貢献する”という想いをもう一度有すべきだと痛感しました。

資源に乏しい我国がここまで繁栄することができたのは、先人の技術力と努力と勤勉さのお陰であると感謝しております。

外国人の受入について議論がされておりますが、外国の方が日本のために働こうという気持ちになってもらうには、まず私たち自身が何かの役に立ちたいとの精神を持たなければならぬと思っております。

新しい天皇陛下を戴く次の元号も、我国が更に栄えて皆さまに幸多き時代が到来することを祈念致しております。

どうか今後とも末永く、医療法人藤井会への御指導と御鞭撻をくださいますよう何卒よろしくお祈りを申し上げます。



石切生喜病院 病院長 山本 久美夫

明けましておめでとうございます。

昨年は想定外の激変の1年となりました。戊年ということで新しい豊かな年の訪れを期待しておりましたが、4月の診療報酬の改定は当院のみならず関連施設にとっても予想外の経営環境への圧迫になったとの印象を抱

きました。

今後の経営努力が促されるところです。その後は我国(特に関西地方)がまさに「災害列島」に居住していることを思い至らしめる自然災害の連続でした。

6月の大阪北部地震は早朝8時からの当

院の会議の真最中に発生し、神戸の地震以来の大きな揺れであり今尚北摂地域ではその悪影響から脱していません。

その後の8月以後の大型台風の到来はそれに輪をかけて我々の築いてきた関西地域の居住基盤に深い傷跡を残しました。

以上の災害を通して、日本人がどのようにしてこの災害列島に住むことになったのか? つい考えてしまいました。

かつて我々現代人の祖先はアフリカで発祥したことが遺伝子解析の結果判明しているようです。

その後祖国アフリカを旅立ち、メソポタミア地方(エデンの楽園)に至った後、西に進んだグループ(西洋)と東に進んだグループ(東

洋)があり、東に進んだうちの一部がこの日本に居住するに至ったとのことでした。

その長い長い人類史を考えると我々日本人は、かつて飢饉、自然災害あるいは戦争など数々の危険を乗り越えこの日本列島に到来するに至ったことを考えると正に千載一遇の幸運に支えられた現代人であると実感される次第です。

ところで本年は亥年です。勇気と無病息災になるのが特徴のようです。良い年になりそうですね。我々日本人の先祖がそうであったように新しい年に向かって勇気を持って進んでゆきましょう。

大東中央病院 病院長 梶山 雄司

新しい年を迎えるにあたり皆さまのご健康をお祈りいたします。

65歳以上の高齢者が人口の30%を超えたとされる「2025年問題」に対して、医療が直面する事態についての対策が議論されています。

将来推計では、「がん」は減少し、高齢者に特有の肺炎・心臓病・脳卒中・骨折・認知症が増加すると考えられています。

高度先進医療を担う大学病院などの大病院はますます専門化し、地域医療を担う私どもの病院のような中小病院の機能はどうある

べきか対応を迫られます。

かかりつけ医としての機能と、開業医の先生方からのご紹介を含めて患者さまのニーズに合わせた専門性も確保していくことが両立できるかが課題と思われま

地域の皆さまの健康を守るためにできることは何かを常に考えて将来を見据えて参りますので、本年もよろしくご指導の程お願い申し上げます。





## 香芝生喜病院 病院長 清水 幸宏

新年明けましておめでとうございます。  
私が昨年4月に香芝生喜病院に病院長として就任して以来、早くも9か月が経過しました。  
赴任前の10年間ほどは、医療行政に関する書類を手にするのも無く、地域包括ケアという言葉が何を意味するかも知らなかった私に、院長職が務まるのかと悩む状態でした。  
昨年の病院誌における病院長就任のご挨拶では、体調不良で苦勞されていた白井前院長に代わるピンチヒッターとして、見逃しの3振だけはしないように努めますと記述いたしました。  
しかしながら長年心臓血管外科の臨床に取り組んできた私にとっては、院長という慣れない仕事のなかで、あらゆることを見逃さずに打ちに行くというのは、阪神タイガースの打撃と同様に困難であるということがだんだん理解できるようになりました。今後は三振しても振り逃げがあると思って、走るのを忘れないようにしたいと思っています。

さて厚生労働省によると、2025年度には団塊の世代が後期高齢者になり、若年者が減少し、高齢者が増加するため、急性疾患が減少し、慢性疾患が増加すると予測し、急性期の病床は余り、慢性期の病床が不足する懸念があるとしています。

そのため急性期から回復期にかけての患者さまの状態に応じた医療

を、各施設が役割分担して提供する地域医療構想が必要となります。

香芝生喜病院は開院して2年足らずであり、この地域医療構想の中でどのように対応していくのか思い悩む状態です。しかしながら将来どのような制度になろうと、患者さまから信頼される病院を構築していけば、患者さまに選択される病院として機能出来るはずで

す。高齢者であっても急性期医療の必要性が消失するわけではありません。患者さまの状態に応じた適切な医療を行う選択肢があるはずであり、そのために各科が実力を磨き切磋琢磨すればよいと思っています。

根本的に大事なことは、来院される患者さまに不安を与えずに、信頼される医療を展開することであり、それをなくしては病院の存在意義はないということが改めて理解できて良かったと思っています。

香芝生喜病院の職員の方々には、新年早々に大上段に振りかぶって申し上げることはありません。すべての職員の方々が、自分が患者さまの身であったら何をしてほしいかを考え、各職域あるいは共通の職域で行動していただければと思います。

患者さまのため、そして病院で働くすべての仲間のために努力し、幸せになりましょう。よろしくお願ひ申し上げます。



## 北河内藤井病院 病院長 川口 雄才

新年明けましておめでとうございます。

今年は亥年で十二支の最後になり、植物の成長過程に喩えられている十二支では、蓄えた作物を皆に行き渡らせる年になります。また亥年には、無病息災や正義といった意味合いもあるそうです。

その様な事から、昨年は地震や台風による災害が大阪だけでなく全国的にあり、またパワハラや不正なども話題になりましたが、今年には、無病息災や正義といった意味合いもあるそうです。

ところで、般若心経を知って居られる方も多いと思いますが、般若心経は「観自在菩薩 行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空度一切苦厄」から始まります。

この冒頭部分の意味は、「観音様が最高の智慧を得たいと思って修行している時に、ハッと五蘊は皆空だと悟ったら、一切の苦しみから解放された」という事です。

五蘊とは「色・受・想・行・識」という人間を構成する5つの要素の事をいい、それぞれ人間の肉体(色)や心(心地良い・悪い…受、好き・嫌い…想、やりたい・やりたくない…行、正しい・正しくない…識)を指すのですが、人は肉体が衰え、滅びる事を恐れ、また心の中の二元対立が複雑に絡み合い、混乱を来す事により、兎角悩み苦しむ事になります。

それを観音様は、その様な五蘊は夢まぼろ

しだと悟って、一切の苦厄から解放されたということが、般若心経の最初に書かれています。

仏教では無分別を大切にし、好き嫌い、善悪、利害得失、毀誉褒貶など、比較や区別したりすることを遠ざけて修行します。なぜなら、分別する心があると悟りの世界に行くことが難しくなり、いったん世間的な考えや価値観を捨てる様にするからです。そうすると、現実世界が夢まぼろしの様に映るようになって、新しい考えや価値観が芽生えて来て、この先の幾多の困難にも不動心で対処する事が出来る様になります。

しかし、俗人である私たちには、その様な境界に達することは難しいです。心掛けとして、この世の無常を悟って、事ある毎に呼吸に意識を向けられるのが良いのではないのでしょうか。

また、この世に生を受け、長く生きれば生きるほど、自然災害や人間関係で悩み苦しむことが多くなります。それも、この世の常として現実を受け入れ、ストレス解消のために、仕事と余暇にメリハリを付けるのも良い方法です。

今年も皆さまと共に楽しく歩んで行けたら幸いです。





藤井会リハビリテーション病院 病院長 鄭 台キョク

新年あけましておめでとうございます。  
藤井会の皆さまにとって良い年になりますようお祈りいたします。

初代病院長、山片先生の後任で平成26年4月から2代目の病院長として5年になります。病院各職員や藤井会の皆さまのご支援で何とかやってこられたこと感謝いたしております。

さて平成31年(2019年)を迎えましたが、平成28年4月の保険改定でリハビリの効果を判断するアウトカム評価が導入され条件に満

たない場合はリハビリ点数が減点されるというリハビリテーション病院にとって厳しいものでした。

さらに平成30年4月の保険改定ではアウトカム評価の基準がより厳しいものになり、平成30年は職員全体で基準をクリアするために取り組んで参りました。

また2025年に向け大阪府からの指導で急性期病院の病床整理と回復期リハビリ病院、地域包括型病院への移行を促進しています。

今後、回復期リハビリ病院は増加すると予想され、当院への患者紹介も減る可能性が高いと思われませんが、2025年を迎えても評判の良い健全な病院を続けていれば必ず良い結果になると思いますので、皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



みくりや診療所 院長 福井 寛也

新年明けましておめでとうございます。

私がみくりや診療所に来て2年近くになりますが、患者さまの数も少しずつ増加しておりますが、患者さまの数も少しずつ増加してきました。この要因でもありますが、当院の良いところを3つほどお話しさせていただきます。

最初に当院のバックには藤井会があり、たくさんの医療的な応援や協力が得られることです。

診療所にいますと、脳血管障害、脊髄疾患、腰痛症、四十肩、変形性膝関節症などの整形外科の疾患、糖尿病、高血圧、高脂血症、慢性腎炎、急性肺炎などの内科的疾患、外傷、熱傷や褥瘡、前立腺肥大症を始めとする泌尿器科疾患、閉塞性動脈硬化症などの

末梢血管障害、神経内科的な疾患など、たとえば、専門家ではなくてもあらゆる分野の疾患を診なければなりません。これらを可能にしてくれるのは、藤井会で働く多くの専門医師や各部署のスタッフの快い協力体制です。

調べてみますと、この1年8か月の間に約200通の診療情報提供書(紹介状)を書きました。ほとんどの患者さまを快く受け入れてくださり、丁寧な精査や治療をしていただき、患者さまは満足してみくりや診療所に帰って来られました。

この場を借りてお礼を申し上げますとともに、今年もどうか宜しくお願いします。

2番目は、診療に積極的に超音波検査を取り入れていることです。超音波検査は診療において非常に役立ちます。私は超音波検査なくして診療することなど怖くてできません。腹部疾患は勿論ですが、心不全、血管狭窄や閉塞、動脈硬化の程度などを把握するのに非常に簡単で便利な検査です。また、超音波検査から集められたより多くの情報を診療に生かすことにより、医療の質も上がり、患者さまからの信頼度も増します。

診療の評価は患者さまの納得度で決まるとは思いますが、私は納得度の判定は患者さまの2回以上の“ありがとう”の言葉と考えています。



帰り際に2回目の“ありがとう”の言葉を聞くと安心します。

当院ではほぼ100%の患者さまの2回目の“ありがとう”の言葉を聞くことができと思っています。

3番目はスタッフが楽しく仕事をしていることです。楽しくなければ患者さまに丁寧に優しく接することはできないと思います。小さい施設だからできることかもしれませんが、患者さまに温かい声かけ、患者さまに丁寧な対応をとり、居心地の良い診療所になっていると思っています。今年目標は昨年の年間超音波検査数450件を600件にすることです。

今年も地域の皆さまからたくさんの健康相談を受けるような、地域の皆さまから頼りにされる診療所を目指して全員で頑張りたいと思います。





深江クリニック 院長 尼木 純子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、地震に始まり、大型台風や大豪雨等々自然災害に見舞われた年でした。本年は平成最後の年となりますが、平穏な成長の年となって欲しいものと願っております。

昨年は、クリニックにて定期的に行う医療安全委員会で、南海トラフ巨大地震を想定し、色々な対策を話し合ったうえで丁度、避難訓練をして間もない時期に大阪府北部の震度6の地震に見舞われました。

これが幸いしてか、スタッフは比較的に想定内での落ち着いた行動がとれましたが、医

療現場が3階ということで、エレベーターが止まり患者さまには、色々ご負担をおかけする事となりました。

現在の深江クリニックの患者さまの平均年齢は69歳で、うち車椅子が必要な方は約20名、送迎サービスが必要な患者さまは来院患者さまの71%にのぼります。

こういった状況ですので、本年も医療安全や患者さまサービスを第一に考えスタッフ一同、平成最後の年を平穏無事に良い年だったと振り返ることが出来る一年にして行きたいと思っています。

住道クリニック 院長 佐井 吉永

新年あけましておめでとうございます。

今年は天皇陛下が退位されることが予定されており、新たに皇太子殿下が即位され新しい年号を迎えることとなります。

私も昭和、平成に加え3つ目の年号を迎えることとなりますが、当院に通院されている患者さまの中には、大正もあわせて4つ目の年号を迎える方もいらっしゃいます。

今後も日常生活が自立した状態で、治療を続けていただけるよう、私どもスタッフも少しでもお役に立てればと考えております。もちろん、すべての患者さまのお役に立てるよう努

力してまいります。その一環として、働いている方にもできるだけ働いていただけるよう、昨年より透析時間を午後10時まで行う夜間透析を開始しております。

これからもさらに患者さまのお役に立てるよう、努力を続けていきたいと思っております。今後ともどうかよろしくお願いいたします。



石切生喜病院 外来化学療法室をリニューアルしました

石切生喜病院 化学療法センター センター長 川尻 成美

がん化学療法(抗がん剤治療)は手術療法や放射線療法と同様にがん治療の重要な治療のひとつです。治療と生活を両立させるため、現在では多くのがん化学療法は外来通院で行うようになっております。

石切生喜病院におきましても積極的に通院での化学療法を導入しており、2016年2月15日に、外来がん化学療法専門の化学療法室を開設いたしました。

■ ベッド数を増加

当初は外来化学療法室をベッド数8床でオープンしましたが、利用のニーズが高く、治療件数が大幅に増加しました(下図)。



ベッドが不足し、治療待ち時間の発生が問題となっておりました。そこで、2018年5月に外来化学療法室のリニューアルを行い、ベッド数を10床に増加させました。

改装工事の際に、スタッフの作業ゾーンを部屋の中央に、全てのベッドを壁側に配置することにより、スタッフが室内全体を観察しやすくなるよう設計いたしました。治療中の患者さまに異常があった場合、迅速に察知し対応できるよう工夫しております。

■ 特色

当院の化学療法室の特色として、抗がん剤の調剤室が外来化学療法室内に設置されていることがあげられます。このため、薬剤師や看護師などのスタッフ間のコミュニケーションを緊密にとれるため、抗がん剤を調剤した後、スムーズに治療が開始できるというメリットがあります。

また、患者さまが気軽にスタッフに質問できるため、安全・安心・快適な環境で治療を受けることができます。





# 第13回 循環障害を考える会 開催

法人本部 広報課

医療法人藤井会では、藤井会職員と近隣地域の医療機関の先生方との循環を円滑にしようと「循環障害を考える会」を開催しています。

日時：平成30年10月27日(土) 17:00～19:00  
場所：シェラトン都ホテル大阪 4階『大和の間』

開会の辞：田中 宏 本部統括医務部長・石切生喜病院 副院長

## 一般演題

座長：島田 健永 香芝生喜病院 副院長

講演1：「循環不全を考慮した透析療法～腹膜透析を中心に～」

演者：立石 悠 石切生喜病院 腎臓内科 副部長

講演2：「CKDにおける心血管合併症」

演者：笠行 典章 石切生喜病院 副院長

## 特別講演

座長：今西 政仁 石切生喜病院 副院長・透析センター長

演者：大阪市立大学大学院医学研究科・医薬品・食品効能評価学  
教授 日下部 哲也 先生

内容：「臨床研究を取り巻く環境と今後の方向性」

～レギュレーションを制する者は、イノベーションを制する～

全講演とも、予定時間を超えるなど盛況裏に終了しました。

閉会の辞：山本 久美夫 石切生喜病院 病院長

講演会終了後、情報交換会が行われました。



開会の辞  
田中 宏 本部統括医務部長  
石切生喜病院 副院長



《一般演題》座長  
島田 健永  
香芝生喜病院 副院長



《一般演題 講演1》演者  
立石 悠 石切生喜病院  
腎臓内科 副部長



《一般演題 講演2》演者  
笠行 典章  
石切生喜病院 副院長



《特別講演》座長  
今西 政仁 石切生喜病院  
副院長・透析センター長



《特別講演》演者  
大阪市立大学大学院医学研究科  
医薬品・食品効能評価学 教授  
日下部 哲也 先生



閉会の辞  
山本 久美夫  
石切生喜病院 病院長

# 第4回

# 心臓病の未来を考える会

# 開催



医療法人藤井会では、平成30年11月17日(土)スイスホテル南海大阪 7階『芙蓉の間』にて、第4回心臓病の未来を考える会を開催いたしました。

開会の辞：田中 宏 本部統括医務部長・石切生喜病院 副院長

## 講演 I

座長：笠行 典章 石切生喜病院 副院長

講演：松岡 雄治郎 石切生喜病院 循環器内科 医師

内容：『循環器領域における抗血栓療法 ～弁膜症治療の現在と未来～』

## 講演 II

座長：島田 健永 香芝生喜病院 副院長

講演：奈良県立医科大学 循環器内科学教室 教授 齋藤 能彦 先生

内容：『超高齢社会における心不全医療の現状と課題』

閉会の辞：島田 健永 香芝生喜病院 副院長

講演会終了後、場所を移し意見交換会・情報交換会を開催し、盛況裏に閉会いたしました。



開会の辞  
田中 宏 本部統括医務部長  
石切生喜病院 副院長



《講演 I》座長  
笠行 典章  
石切生喜病院 副院長



《講演 I》演者  
松岡 雄治郎 石切生喜病院  
循環器内科 医師



《講演 II》座長  
島田 健永  
香芝生喜病院 副院長



《講演 II》演者  
奈良県立医科大学  
循環器内科学教室 教授  
齋藤 能彦 先生

法人本部

広報課





# 第2回 藤井会特別講演会(職員対象)開催

法人本部 広報課

## ～メンタルヘルスケア推進の意義と対応～

医療法人藤井会では、メンタルヘルスの予防・早期発見のポイントを知り、職員がメンタルヘルス不調になった場合の対処法を身につける為、役職者を中心にメンタルヘルス研修会を開催しました。

事前の参加調査の段階で定員を遥かに超える応募が藤井会全13施設からあり、会場となった石切生喜病院大会議室では収容出来ない為、香芝生喜病院へはインターネットを介した中継による講演となりました。

日時：平成30年9月26日(月) 18:30～19:30

場所：石切生喜病院 大会議室

講師：京セラ株式会社 大阪大東事業所

環境安全部 安全防災課 保健師 塚本 明子 様

題目：「メンタルヘルスケア推進の意義と対応」

- ①働く人のストレスと健康 ②ストレスの要因
- ③メンタルヘルスケアの意義と安全配慮義務
- ④メンタルヘルスケアで何をすべきか?

《司会》医療法人藤井会 法人本部 鈴木 剛 総務部長



## 手術室 看護師の取り組み



石切生喜病院 手術室 副主任  
小村 麻里子

初めまして。  
石切生喜病院の手術看護認定看護師、小村です。  
今回は手術室の看護師の取り組みを紹介させていただきます。

昨今、低侵襲手術と呼ばれる内視鏡手術などが普及することで入院期間も短縮されるようになりました。石切生喜病院でも手術前日に入院していただくことがほとんどとなっています。

外来で、急に手術と言われてお家に帰りバタバタと準備している間にもう入院！ と慌ただしくなってしまうこともあります。



手術室の看護師の役割は、周術期(手術が決まった日から退院するまでの期間)の患者さまの安全を守り、手術が円滑に遂行できるように専門的な知識と技術を提供することです。そのため、手術中だけでなく、手術前から患者さまに関わらせていただいています。

その1つに手術室の看護師は手術前日にご挨拶を兼ねて病室を訪問し、患者さまが安心して手術を受けられるようにお話をさせていただきます。

よく、手術を受けられた方から『まな板の上の鯉だから』という言葉をお聞きします。

しかし寒い、暑い、痛いなど気になることがあれば、気軽にどんどんおっしゃってください。出来る限りの対応をさせていただきます。

たとえば .....

- 担当の先生から手術の説明を聞いたけど、手術当日は何をしたらいいの？
- 昔からテープかぶれをおこしやすいので手術の時も不安・・・
- 寒がりだけど手術室は暖かいの？

..... など

手術に関して少しでも不安や疑問があれば、どんな些細な事でもお聞きください。

また、後日病室に訪問させていただいています。

そのときには .....

- 手術室が少し寒かった
- 手術中のことが気になるけど

..... などなど

手術室という少し特殊な環境ですが、患者さまに寄り添える看護を目指してまいります。



# 北葛城地区医師会 公開市民講座

## 香芝生喜病院 地域医療連携室 室長 石井 秀一

平成30年11月10日(土)北葛城地区医師会主催の市民講座が開催されました。

北葛城地区医師会は、香芝市・葛城市・王寺町・河合町・上牧町・広陵町で主に診療を行う医師が所属する会で安田医院 安田志郎先生が会長を務められています。



今回は会場が香芝市総合福祉センターで、香芝市民を中心に約80名の皆さまにご参加いただきました。

第1部は、香芝生喜病院 循環器内科 島田健永副院長が「長寿の法則」という演題で日常生活の食事・運動や糖尿病が引き起こす血管老化の話まで幅広く、興味深い内容でした。

第2部は、大和高田市立病院 院長 岡村隆仁先生が「最新の乳がん治療」という演題でがんと遺伝子の関係や手術法の移り変わり、新しい治療法、治療薬の話をもとにユーモアを交えて講演されました。

どちらの講演も市民の皆さまに非常に分かりやすい内容で講演後の質疑応答でも活発な質問がされるような楽しい雰囲気での会でした。



《第1部》  
島田健永  
香芝生喜病院 副院長



《第2部》  
大和高田市立病院 院長  
岡村隆仁 先生



# 「離棟・離院対応マニュアル」を作成して

石切生喜病院 医療安全管理部 師長 濱本 恵美

戦後の日本を支えた方々が超高齢化を迎え、次の団塊の世代に突入しようとしています。

看護師になり27年、病院で起こるアクシデントも変化が見られるようになりました。入院中の転倒や転落の増加、病棟から確認を取らずに離れてしまう「離棟」や外出許可の出していない「離院」等が急激に増えました。この背景には誰しも訪れる老いによる、足腰の衰えや物忘れ、認知能力の低下等が考えられます。

私達職員は患者さまの安全を第一に、患者さまにあった方法で予防策を立て、それらに対応しようと日々努力をしています。しかし、すべてが上手くいくわけではありません。

昨年私たちは、「離棟・離院対応マニュアル」を作成しました。これは入院患者さまがベッドに不在で行方がわからなくなった時に、出来るだけ短時間で患者さまを保護するための検索ツールです。

## 【ポイントとしては…】

- ① 検索のエリアを分け、誰が見てもわかるように分担したこと。
- ② 職員の動きに着目し、隅々まで隈なく、また重複することのないように表示したこと。
- ③ 時間に関しては職員が一斉に検索することで、病院の隅々まで短時間で検索できるようになったこと。
- ④ 短時間で病院内での保護ができる、または短時間で病院にいないことを確認できること。

上記の結果、患者さまの安否が確認されない場合は速やかにご家族に連絡することが可能となりました。

またご家族の協力を得て、警察への検索の届け出が速やかに行われるようになりました。

マニュアル作成までも、患者さまが行方不明になることは多々ありました。時間帯等にもよりますが、検索開始から患者さまを保護するまでに1~3時間以上かかる場合もありました。

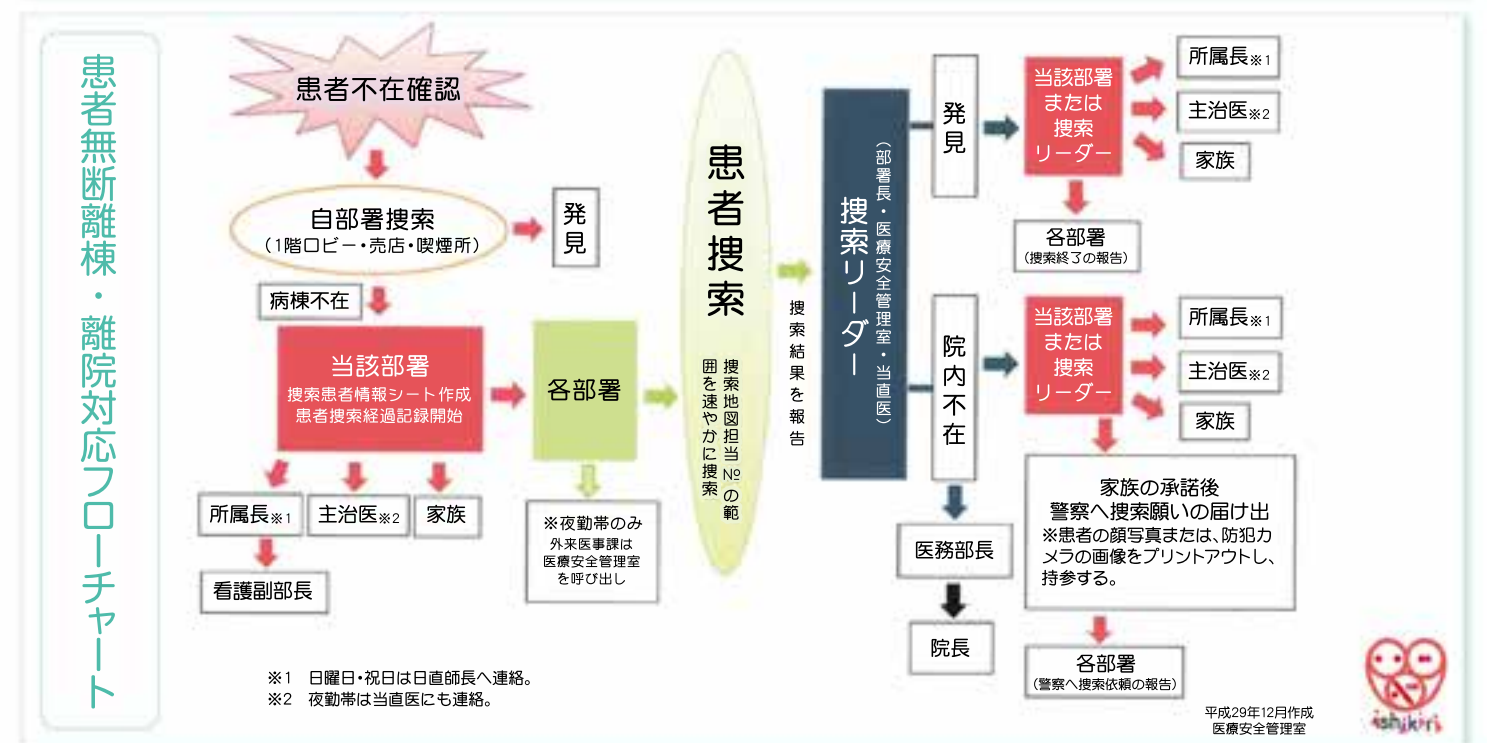
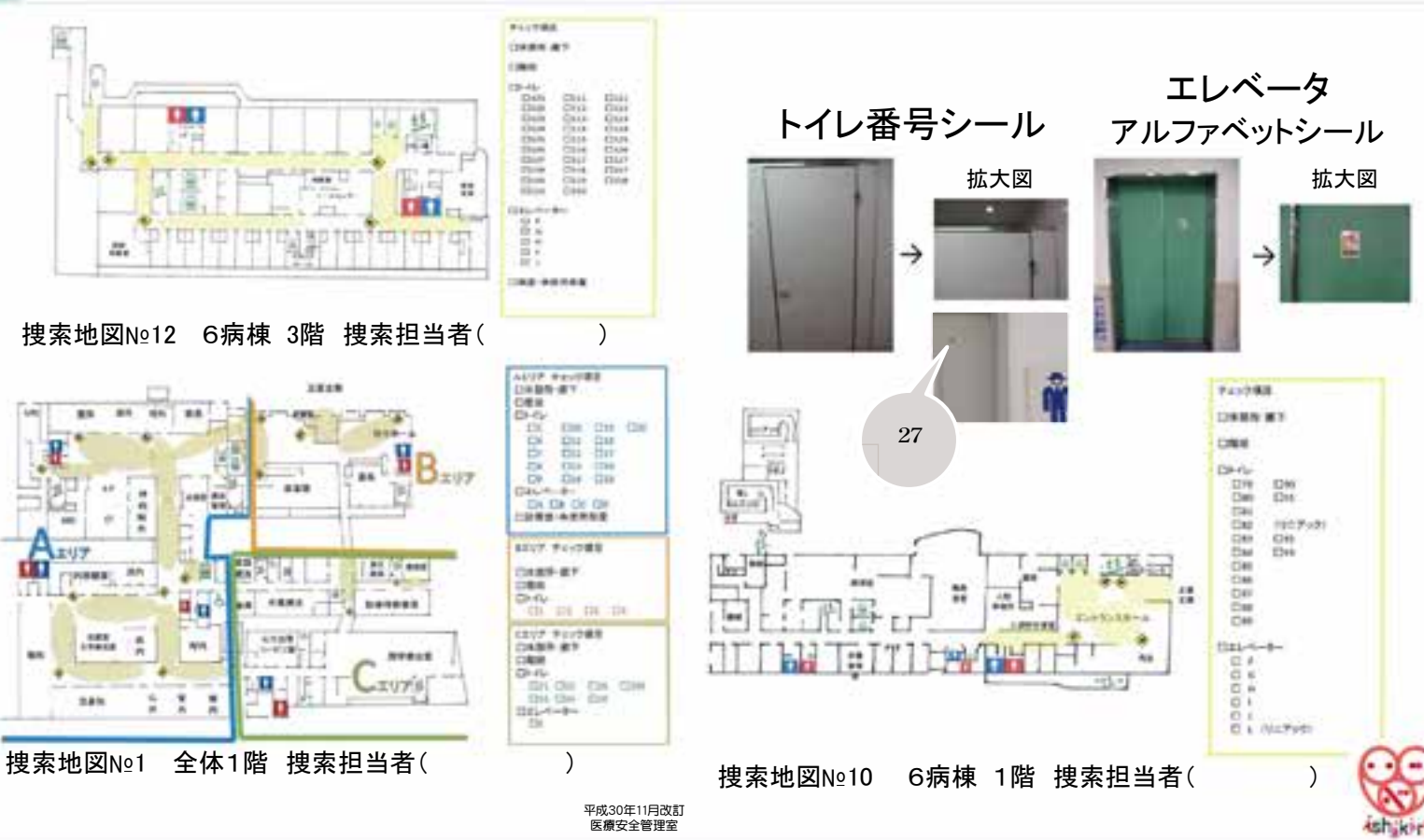
マニュアル使用後は、職員の検索エリアが定められたことにより、検索範囲が重複することや見落とすことがなくなり、短時間で効果的な検索を実施できるようになりました。患者さまの保護までにかかった時間は、わずか7~30分に短縮できました。

今後の課題として全職員がマニュアルを理解し、より短時間で患者さまを安全に保護できるよう繰り返し訓練することが必要だと考えています。

今回このマニュアルを日本医療マネジメント学会で発表したところ、そのアイデアが評価され「ナーシングビジネス」という看護雑誌に掲載されることになり、とても光栄に思います。

安心・安全で質の高い医療を提供することが病院の使命であり、医療安全の範囲はととても広いです。その中で一番優先されることは患者さまの安全です。安全を担保しつつ、最良の医療が提供できるよう、職員一同これからも安全へ向けての知識・技術の習得に力を入れて行こうと思います。

最後になりましたが、患者さまとご家族、そして病院で働くすべての職員の安全を守ることが、私たち医療安全管理者の役割です。小さな声も聞き逃さず、小さなミスも見逃さず、誠実に、また迅速に対応します。これからも地域のみなさまに愛される病院であり続けるよう頑張っていこうと思います。





# 看護多機能施設さくら、 藤井会訪問看護ステーションを 今年もよろしくお願ひします。

藤井会訪問看護ステーション 所長  
看護多機能施設さくら 施設長  
津野 美千子

- ②施設に通って日中を過ごす通所介護(デイサービス・デイケア等)
- ③介護者の負担の軽減を図る短期入所(ショートステイ)
- ④体調の管理やケアを行う訪問看護
- ⑤自宅でリハビリを行う訪問リハビリ
- ⑥老人ホームの利用 などです。

その中でも看護多機能施設さくらは、訪問看護・介護・リハビリ、通い(デイサービス)泊まり(ショートステイ)が定額料金で利用でき、組み合わせも利用者さまのニーズで組み合わせが自由に行えます。

また、訪問看護ステーションと一体運営しています。お身体の不安ごと、相談、体調管理体調不良時の対応を24時間しており、石切生喜病院とも連携しておりますので安心して在宅生活を送っていただけます。

相談や見学はいつでもお越しただいて結構です。スタッフ一同、お待ちしております。

今年も地域の福祉の向上に努めてまいりますので、今後とも皆さま方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎ひの事とお慶び申し上げます。

昨年、さくら祭り・ゆかた祭りのイベントではご利用者さま並びご家族さま、地域の方々にお手伝いいただき、運営会議では地域包括センター、自治会の皆さまに温かいご支援とご協力を賜り無事新春を迎えることができましたことを心よりお礼申し上げます。

平成時代は高齢化が急速に進み「介護」が日本社会の大きな課題となっております。

介護保険制度は年を取って介護が必要になった人を社会全体で支える仕組みになっています。利用する際には市役所に申請を行い、どのくらい介護が必要かを示す「要介護度」の認定を受けます。

介護サービスの種類は

- ①ホームヘルパーが自宅に訪れる訪問介護

## 藤井会新石切デイサービス

### 5周年を迎えました

藤井会新石切デイサービス 施設長 筒井 紗恵子

藤井会新石切デイサービスはこの度、5周年を迎えることができました。

これもひとえに皆さまのおかげと心より感謝申し上げます。

日々たくさんのご利用者さまにお越しいただき、窓から光が沢山差し込む明るい施設では日中賑やかにわいわいとした楽しい皆さまのお声が響いております。

新石切デイサービスでは、専属の柔道整復師による個別のリハビリテーションの時間があり、施術後には「楽になった!」と皆さまから笑顔がこぼれます。

また、入浴の時間では、お身体の具合によってご自宅での入浴が難しい方でも、スタッフの介助で湯船に浸ることができる方も沢山おられ「湯船に浸かるのは何年ぶりかな〜お風呂ってやっぱりええなあ」と涙されるシーンもお見受けいたします。

その他にも、明るい介護スタッフたちが工夫をこらし、季節様々なレクリエーションやゲーム、ご自宅でもできるタオルなどを使った体操をご提供しており、皆さま汗を流されたり、一方ではお得意のカラオケをご披露されたり将棋の対局など、皆さま



ご自身のお好みに合わせて自由に一日をお過ごしです。

また藤井会らしく看護師による充実した健康チェックや丁寧なケアもご提供しております。

そんな中、「また会えたね」「先週どうしたの?」「また来週ね」等、ご利用者さま同士が和やかに話しされ笑顔溢れるシーンも沢山みられます。

こうした中で見られるご利用者さまの笑顔が新石切デイサービススタッフ全員の何よりの喜びであり、やりがいと感じ、スタッフ一丸となって頑張っております。

今後もスタッフ一同、ご利用者さまやご家族のご希望に添えますように、日々安全で温かい介護、看護をお届けできるよう努めてまいります。





# やまたいこく まきむく 邪馬台国か？纏向遺跡周辺を歩く

北河内藤井病院 地域医療連携室 室長 辻 剛伸

まきむく 纏向遺跡は奈良県桜井市の三輪山の北麓一帯にあります。遺跡の範囲はJR巻向駅を中心に東西約2km・南北約1.5kmにおよび、その大きさは3km<sup>2</sup>に達し藤原宮に匹敵する巨大な遺跡です。現在遺跡は辻地区で柱が建てられ駅の看板でその建物が確認出来ます。纏向の名は垂仁天皇まきむくたまきのみやの纏向珠城宮、景行天皇の纏向日代宮まきむくひしろのみやに由来します。この遺跡は弥生時代から古墳時代への転換期の様相を示す重要な遺跡で、邪馬台国畿内説を立証するものではないかと注目されています。



箸墓古墳

を作る。

- ③生ものを食べる。酒をたしなむ。
- ④兵器は矛・盾・木弓を用いる。
- ⑤気候は温暖である。
- ⑥集まりや座る順には父子男女の区別はない。長命で女性は慎み深い。等々。

## 邪馬台国に関しては



<https://trendnews-ttnb.blog.so-net.ne.jp/>

- ①卑弥呼ひみこは邪馬台国に住し、鬼道で衆を惑わしていたという。既に年長大であり、夫はいない。弟がいて彼女を助けていたとの伝承がある。王となつてからは、彼女を見たものは少なく、た

ここで三国志の魏志倭人伝には、倭人や邪馬台国のことがどのように紹介されているかを簡単に記します。

## 倭人に関しては

- ①男性は顔と体に文様を描いている。頭を剃って木綿をかぶり、衣は横長でそれをただ束ね結わえ着ている。女性は髪を伸ばして髷まげを作り、衣は1枚を被るようにその中央に穴をあけ頭を通して着る。
- ②稲や麻を栽培している。桑で蚕を育て糸や布



纏向勝山古墳看板

纏向勝山古墳

東田大塚古墳看板

東田大塚古墳

- だ一人の男子だけが飲食を給仕するとともに、彼女のもとを出入りしていた。宮室は楼観や城柵を厳しく設けていた。
- ②卑弥呼が死亡したときには、倭人は直径百余歩もある大きな塚を作り、奴婢百余人を殉葬したとされています。
- ③西暦238年12月卑弥呼は初めて難升米なしめらを魏に派遣。親魏倭王の仮の金印と銅鏡100枚を与えられました。
- ④卑弥呼の死後男の王が立つも国が混乱し、卑弥呼の宗女「壹興いよ」を13歳で王に立てると国中が鎮定した。等々。

卑弥呼の治世はどのようなものであったか、推し量ることは困難ですが、人々は従順で国の大人(支配層)には恭順をしていたとも魏志倭人伝に記されていることから治安は安定していたと考えられます。でも鬼道で衆を惑わすような政治、言葉通りなら民衆は大変だったろうなあとと思います。



## 纏向遺跡の特徴は

「大集落と言われながらも、人の住む集落跡が確認されていないこと。現在確認されているのは祭祀用の建物と土坑、祭祀用具(弧文円盤、鶏形木製品)大小の運河などです。魏志倭人伝に記された邪馬台国の時期と重なること。3世紀を通じて搬入土器の量や範囲で他に例がないほどの規模で15%ほどが駿河・尾張・伊勢・近江・北陸・山陰・吉備で生産されたもので占められています。これらのことから纏向遺跡は人々の交流センター、当時の王権の本拠地であったと考えられること。」などです。

また纏向遺跡の主な古墳は、纏向石塚古墳・纏向勝山古墳・纏向矢塚古墳・東田大塚古墳・ホケノ山古墳・箸墓古墳などで前方後円墳発祥の地とみなされています。その中の箸墓古墳(宮内庁指定 倭迹迹日百襲姫命墓やまとととひもそひめのみこと)は卑弥呼の墓とする説もあります。

日本古代史最大の謎といわれる邪馬台国の候補地で悠久の古代史に思いをはせてみては如何でしょう。



纏向矢塚古墳看板

纏向遺跡とJR桜井線(万葉まほろば線)

纏向遺跡看板

纏向遺跡

纏向石塚古墳看板

ホケノ山古墳看板



石切生喜病院 診療情報管理室 副主任  
日高 伸介

今回は、診療情報管理士という職業と、石切生喜病院の診療情報管理室の業務について、ご紹介します。

診療情報管理士とは

診療録の適切な管理、国際疾病分類等に基づいた診療情報のデータベース作成、および情報の抽出、加工や分析を行う職業で、四病院団体協議会等から認定される資格です。

病院内でも耳慣れないと言われることも少なくない診療情報管理士ですが、国内では1972年から診療録管理士として育成が始まりました。診療録(診療記録)とは、いわゆるカルテのことで、医師法や医療法において、その作成や記載項目、保存期間が義務付けられた公的文書のことです。

カルテは、日々の診療を継続していくための記録だけでなく、その他にも医療従事者の研究や教育、病院経営、公衆衛生上重要な価値や役割を持っています。この価値を最大限に活用するため、カルテの適切な管理が求められ、病院内に担当者が配置されるようになりました。

近年では情報技術の進歩によって、カルテを始めとする診療記録の電子化が進み、診療情報のデータベース作成が容易になりました。

これにより、これまでのカルテの管理に加えて、データの抽出、加工等が業務として多く取り入れられるようになり、1996年より診療情報管理士という資格名称となっています。

診療情報管理室の業務について

石切生喜病院の診療情報管理室では、入院カルテという「物の管理」、入院カルテからの「データの管理」を中心に業務を行っています。

まず、「物の管理」では、患者さまの退院後に回収されたカルテに必要な記録が揃っているか、記録の記載に不備はないかといった点検を行います。点検が終わったカルテは保管場所を定めた棚に収納していきます。また、次の診察や書類作成、研究等の必要時には依頼を受けて、閲覧や貸出の手続きに対応しています。

次に「データの管理」では、医師が患者さまの入院中の経過をまとめた退院サマリーという記録を中心に、カルテから情報を収集し、部門システム上に独自のデータベースを作成していきます。データベースには病名や、これに対して施行された手術や処置をコード化したものを登録します。このコード化には統一規格の国際疾病分類ICDというものを使用します。

その他にも、入院医療の包括評価制度(DPC制度)というものがあり、病名による患者分類の方法としてICDが使用されています。当院はDPC制度の対象病院ではありませんが、急性期医療を提供する病院の一つとして、このDPC制度に伴うデータを厚労省へ提出しています。

また、2016年に法制化されたがん登録では、がんの部位や組織型の分類に、このICDを派生させたICD-O 国際疾病分類 腫瘍学が使用されています。

石切生喜病院では、診療情報管理室の診療情報管理士がこのがん登録のために必要な外部での研修を受け、担当医師の登録補助および事務手続きを行っています。



# 調理訓練について

藤井会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 副主任 奥川 貴裕

藤井会リハビリテーション病院の作業療法では退院後、お一人暮らしの方や主婦の方などで自分で料理をされる方を中心に調理訓練を行っています。

調理訓練と言っても、患者さまの病気や障害の状態により訓練自体が可能かどうか、また、訓練の方法なども変わってきます。人によっては腕・手・指の骨折などで関節が固くなったり、力が弱くなったりすることがあります。

また、脳卒中で運動麻痺がある方では、病気をする前と同じように手足が動かないこともあります。

脳卒中の方に関しては、高次脳機能障害という、遂行機能障害・注意障害・記憶障害・失行(道具を正しく使えない、作業の手順に混乱がおこるなど)・失認(麻痺側の道具が見つけられない、材料が何であるか分からないなど)様々な障害が出現することがあります。

調理訓練では、このように病になる前と身体の状態が変わった方でも、どのように行えば自宅で料理が行えるようになるかを考えつつ、訓練をすることが必要となります。

訓練では、実際に調理を行う前段階としてリ



調理道具

ハビリ道具を使用した模擬訓練を行う場合もあります。粘土のようなものを食材と見立てて包丁で切る動作、フライパンに細かいものを入れて菜箸で炒める動作、生地をひっくり返すような動作など様々な模擬訓練を行うこともあります。

また、運動麻痺がある方は片手のみで包丁や道具を使う動作を訓練したりします。

このような動作訓練を行い、作業療法士は実際に料理ができるかなどを評価し、調理訓練へと移行していきます。



実際の調理場面

実際の調理訓練では包丁の使い方、調理手順、コンロの操作などが間違いなく行えているか、なおかつ安全に行うことができているかなどを観察し評価を行っています。

高次脳機能障害がある方に関しては、コンロの操作や火の消し忘れ、調理手順の間違いなどが見受けられることがあります。これらを少なくすること、また、無くしていくことを目指して繰り返し訓練を行っています。

患者さまによって生活スタイルは様々です。これからもお一人ひとりの身体状態や障害、生活スタイルに応じた訓練、支援を行っていききたいと思います。



# 食べ物の働きで 身体を内側から 温めよう



寒さの厳しいこの季節。  
血行促進や代謝を高めてくれる  
食材を日々の食事に取り入れ、  
身体の中から温まりましょう!!

香芝生喜病院  
栄養管理室  
小松 由里恵



## 生姜

辛味成分のジンゲロンや  
ショウガオールは血行を

促進し、身体を温める効果があります。風邪  
の引き始めや冷え症に有効です。

新鮮な生姜の選び方としては、全体がふっく  
らとしてかたいもの、切り口がしなびていな  
いものが良いでしょう。すりおろしたり、刻  
むことで薬効が高まります。

保存方法は、ラップに包むか、湿った新聞紙  
にくるんでポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室へ。  
使いかけのものは冷凍しましょう。

生姜の他に、にんにく、こしょう、山椒、からし、わさびなど辛味成分を持つ食材も血行を促進  
する働きがあります。



## 酢類

酢に含まれる酢酸やクエン酸も血  
液の流れをスムーズにして身体を  
温めるとともに疲労回復効果があります。  
米酢、リンゴ酢、黒酢、バルサミコ酢などお好  
みで料理に取り入れてみましょう。



## スパイス類

七味唐辛子、一味唐辛子などに含まれ  
るカプサイシンも身体を温める効果があり、  
免疫機能の活性化にも有効です。その他、キ  
ムチや豆板醤、ラー油なども同様です。美味  
しく味わえる程度に使用してみましょう。

### 簡単! おすすめドリンク♪



#### オレンジ生姜 ジュース

オレンジジュース300mlと生  
姜のすりおろし小さじ1  
(5g)、はちみつ(お好みで)を  
混ぜる。



#### ペッパーココア

鍋で牛乳300mlを温め、ココ  
ア大さじ1と砂糖大さじ2を加  
えて混ぜる。火を止めて粗挽  
きこしょうをふる。



#### リンゴ酢ドリンク

リンゴ酢大さじ2、湯300ml、  
生姜のすりおろし小さじ1  
(5g)、砂糖大さじ2を混ぜる。

レシピ：クロワッサン「決定版 免疫が上がる食べ方」より参照

## 薬局通信

54

石切生喜病院 薬剤室 奥田 真子

イメージ

### 石切生喜病院の薬剤室では、薬学生長期実務実習の受け入れを行っております。

平成18年4月より、薬剤師の養成に関わる6年  
生薬学教育がスタートしました。

薬学教育6年制では、病院と薬局における各  
11週の実務実習が義務付けられております。こ  
の実務実習に先立ち、大学では事前学習を行  
い、さらに共用試験に合格した学生が病院・薬局  
での実務実習に参加することができます。

医療の現場で実務実習の際に指導に当たるこ  
とのできる薬剤師を認定する認定実務実習指導  
薬剤師制度というものがあります。実務実習の受  
け入れには、その認定をうけた薬剤師が常勤し  
ている必要があり、石切生喜病院薬剤室には現  
在、4名の認定実務実習指導薬剤師が在籍して  
おり、薬学生の指導にあたっています。

実習期間中は実務実習モデル・コアカリキュ  
ラムに基づいて、内服・注射の調剤業務、医薬品情  
報管理(DI)業務、病棟業務、外来化学療法室で  
のミキシングや患者指導などの基本業務につい  
て実習を行います。

また、医薬品の管理や供給について理解を深  
めるために薬剤部の見学、チーム医療について  
学ぶために心臓リハビリや感染対策室のカン  
ファレンス、緩和ケア委員会などにも参加して  
もらっています。

そのほか、医局や看護部の協力を得て、手術  
室での手術見学、糖尿病教室への参加、外来診  
察見学、点滴室の見学を実施しています。

私は実習生の担当として、平成28年度に2名、  
平成29年度に6名、平成30年度に1名の薬学生  
の受け入れをしてきました。

基本となるカリキュラムはありますが、興味  
のある分野があれば、その分野を重点的に実習で  
きるようにスケジュールの調整をしたり、病院薬  
剤師の業務についてあまり知らない学生に対し  
ては幅広く様々な業務を経験してもらい、興味  
のある分野を探せるように工夫しています。

私自身の指導内容に不安を感じることもあり  
ますが、11週間の実習を通して、学生の成長を日々  
実感でき、ともに学ぶことができるので、とても  
やりがいを感じています。

石切生喜病院での実習で、どんな薬剤師にな  
りたいか考えるきっかけを作ったり、病院薬剤師  
を将来の選択肢の1つとして考えてもらえるよう  
に指導に取り組んでいます。

病院薬剤師を目指す学生が1人でも増えるよ  
うに、今後もさらに良い実習環境を整えていき  
たいと考えています。



## にこにこ保育園 運動会

● にこにこ保育園 藤本 知恵

今年の運動会は台風が近づき開催が危ぶまれていましたが、子ども達の元気なパワーで台風を吹き飛ばし、無事に「にこにこ保育園運動会」が開催されました。

今年のテーマは「ユニバーサルスタジオジャパン」です。モッピーやミニオンの衣装に

身を包んだかわいい子ども達が入場すると、会場は温かい雰囲気にもまれ、緊張気味の子ども達は見守られながら「GOOD LUCKY!!」に合わせてダンスを踊りました。

乳児クラス0歳児による「フライングスヌーピー」では、スヌーピーに変身して飛行機に乗り、保護者の方に引っ張ってもらい綺麗な虹のトンネルをくぐってゴールしました。

1歳児の、「スヌーピータウンのお買い物」では「どれにしようかな～」とりんごやキャンディーを選んで車に乗せる可愛い姿がたくさん見られました。

0～1歳児の「モッピーの大冒険」では、モッピーのトンネルをくぐり、マットや平均台をハイハイや歩いて進みゴールを目指します。いつもと違う雰囲気泣いてしまう姿もありましたが、周りから「頑張れ！」の声援が聞こえてきて、最後まで一生懸命頑張った子ども達です。

幼児クラスの「ミニオン～ハチャメチャジャングル～」は、障害物競走です。ミニオンに変身した子ども達が、ワニのいる川や恐竜の隣を通りながら大好きなバナナを求めて進んでいきます。無事にバナナを手に入れた子ども達の顔はとても嬉しそうでした。

日々の練習を頑張った成果をしっかりと発揮してくれたと思います。

そして次に、ゲットしたバナナを仲間のミニオンに分けてあげます。ジャングルからバナナを取り返しに来た猿を保護者の方とやっつけ、ミニオンからの手紙を手に入れ、ミニオンにバナナを届けてあげました。一生懸命に頑張る子ども達の姿に、周りからは笑顔と拍手が飛び交いました。

他にも、保護者チームと保育士チームに分かれて白熱した「ムカデ競争」や、大好きなママやパパの背中に乗って笑顔いっぱい「おんぶリレー」など、盛り沢山の運動会となりました。

運動会当日は、家族の方が沢山応援に来て下さり、子ども達の保育園での元気な姿や成長した姿を見て頂ける良い機会となりました。運動会を終えた子ども達は、また一つ大きく成長したことでしょう。



と思いきや…プールの近くまで行き、目をキラキラさせながら必死にのぞき込んでいました。なんと幼児クラスはショーを見る事ができ、ジャンプするイルカに大喜び。柵にしがみつきの、その場を離れようとしませんでした。

また午前よりも動物にすっかり慣れた様子で、ヤギや羊のえさやりにやる気満々！緊張しながらもえさをあげる事が出来ると、子ども達の顔はとっても自信に満ち溢れていました。

### 楽しい時間はあっという間

帰りのバスに乗ると5分と経たないうちに夢の中へ…

お家に帰ってからも「モーさんおったねー。」と話したり、次の日もママにお弁当をおねだりする子もいたようです。

子ども達にとって、とても刺激的で楽しい一日となりました。



### リレー 随筆



去年は、台風や地震など大きな災害が日本各地で発生しました。大阪も地震や台風の甚大な被害を受けました。

街中を歩いていると、所々に台風による暴風で信号の向きが変わったり、地震のあった高槻市ではまだまだ地震の影響があると報道もされています。

去年の災害があったことで、私の所属する深江クリニックでは、災害が起こったときの患者さまの避難方法をあらためて見直す必要がありました。建物のエレベーターが止まった時にどのようにして患者さまを安全に避難場所へ誘導するか、スピーディーにかつスムーズに誘導するにはどうすべきか、ご自宅への連絡や、スタッフ自身の身の安全ももちろん考えないといけない、等々課題は多くあります。

報道にもありますように、南海トラフ巨大地震が実際起こった時に我々の被害が最小限になるよう平時から

の周知な準備が必要であると痛感しております。そのため避難マニュアル作成や避難訓練を消防署のアドバイスを頂きながら繰り返しおこなっていかないと、いざという時の対応が遅れてしまい、多大なる被害を被ることになるでしょう。

今年は災害が起こらない事を願いますが、しかしながら準備を進めて安心してクリニックに通院していただけるようにスタッフ一同努力したいと思っています。

さて、今年は今上陛下のご退位に伴い、年号が変わります。ラグビーワールドカップもあります。聖地花園でも世界からお客様がいらっしゃって大いに盛り上がることでしょう。

新しい年を迎えるにあたり、明るく元気になるようなニュースに溢れた一年でありますように。皆様お元気で健やかな毎日をお過ごしください。

深江クリニック M

## にこにこ保育園 秋の遠足

● にこにこ保育園 北川 愛

お天気にも恵まれた10月19日、「ワールド牧場」へ秋の遠足に行ってきました。お弁当に水筒、おやつを入れたパンパンのリュックを一生懸命に背負い、ワクワクしながら大きなバスに乗り込む子ども達。

バスの中では「ワンワンいるかな？お馬さんいるかな？」とお話したり、車や大きなトラックなど外の景色に夢中の子、お弁当を大事に膝の上に持つ子までいました。

山道をどんどん上がると芝生

に馬やヤギが見え、無事ワールド牧場に到着！大きな馬の横を緊張しながら通り、まずは小動物コーナーへ。

うさぎやひよこ、ハムスターなど、ドキドキしながらもツツツと触ってみる子ども達。触ることが出来ると満面の笑みを見せてくれました。

またヤギや羊には「メ〜〜！！」と全力で叫び返し、掛け合いをする可愛い一面も見られました。

待ちに待ったお弁当の時間。ママが作ってくれた愛情いっぱいのお弁当に大喜び！とっても幸せそうにおにぎりを頼張り、「おいしいね〜！」と顔を見合わせていた姿は本当に嬉しそうでした。

続いて午後からイルカの見学へ

乳児クラスは、間近にいる大きなイルカに怖がるか



愛情・信頼・奉仕

医療法人 藤井会

看護多機能施設 さくら

藤井会訪問看護ステーション

介護の事で

困っていませんか？

〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号

● 看護多機能施設 さくら TEL 072(983)7633

● 藤井会訪問看護ステーション TEL 072(983)7622







医療法人 藤井会

シンボルの由来

全体のイメージは藤井会のF。愛情・信頼・奉仕を表現しています。

医療法人 藤井会 <http://www.fujiikai.jp/>

石切生喜病院	〒579-8026 東大阪市弥生町18番28号 TEL 072(988)3121 <a href="http://www.ishikiriseiki.or.jp">http://www.ishikiriseiki.or.jp</a>
大東中央病院	〒574-0042 大東市大野2丁目1番11号 TEL 072(870)0200 <a href="http://daito-central-hp.com/">http://daito-central-hp.com/</a>
香芝生喜病院	〒639-0252 奈良県香芝市穴虫3300番地3 TEL 0745(71)3113 <a href="http://www.kashibaseiki.fujiikai.jp">http://www.kashibaseiki.fujiikai.jp</a>
北河内藤井病院	〒575-0003 四條畷市岡山東3丁目1番6号 TEL 072(879)5311 <a href="http://www.kitakawachi.fujiikai.jp/">http://www.kitakawachi.fujiikai.jp/</a>
藤井会リハビリテーション病院	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 TEL 072(983)7811 <a href="http://www.fujiikai-reha.jp">http://www.fujiikai-reha.jp</a>
藤井外科	〒579-8004 東大阪市布市町3丁目6番21号 TEL 072(985)3051 <a href="http://www.fujiigeka.fujiikai.jp/">http://www.fujiigeka.fujiikai.jp/</a>
みくりや診療所	〒577-0034 東大阪市御厨南2丁目6番3号 TEL 06(6787)2508 <a href="http://www.mikuriya.fujiikai.jp/">http://www.mikuriya.fujiikai.jp/</a>
深江クリニック (人工透析センター)	〒537-0002 大阪市東成区深江南3丁目22番13号 布施口ビル2階・3階 TEL 06(6977)2955 <a href="http://www.fukaclinic.jp/">http://www.fukaclinic.jp/</a>
住道クリニック (人工透析センター)	〒574-0046 大東市赤井1丁目13番1号 ポップタウン住道1番館1階 TEL 072(872)9555 <a href="http://www.suminodoclinic.jp/">http://www.suminodoclinic.jp/</a>
藤井会新石切デイサービス	〒579-8014 東大阪市石切町1丁目8番22号 TEL 072(987)5005 <a href="http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/">http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/</a>
藤井会ケアプランセンター	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 藤井会リハビリテーション病院1階 TEL 072(983)7806 <a href="http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/care/">http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/care/</a>
藤井会訪問看護ステーション	〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号 TEL 072(983)7622 <a href="http://www.houmonkango.fujiikai.jp">http://www.houmonkango.fujiikai.jp</a>
看護多機能施設さくら	〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号 TEL 072(983)7633 <a href="http://www.kantaki.fujiikai.jp">http://www.kantaki.fujiikai.jp</a>

藤井会グループ案内図

